



radio Camnetに続くマガジン版 雲心月性

大槻ワールドへようこそ

Camnet マガジンをお楽しみの皆様。マガジン版「雲心月性」です。いかがお過ごしですか？

大槻は川崎医科大学の中の川崎医学会の運営委員長でデジタルサイネージに機関誌への投稿を促すスライドを月の前半2枚、後半2枚で流しています。Ms. Keiko C の描いたイラスト、Ms. Saori T の絵手紙と僕の写真です。2019年の11月と12月のスライドを紹介します。



後楽園も秋に染まっています。秋の青空でも、少し肌寒いかな？



椿が、咲き始めて、気取らない優美さにも例えば公園で浸ってみたいですね。



年越し蕎麦には、少し早いのですが、上州で美味しいお蕎麦を食べました。



もう冬でも暖かい部屋で、なんとなく赤い風船の夢を見る。あの娘はどこの子？



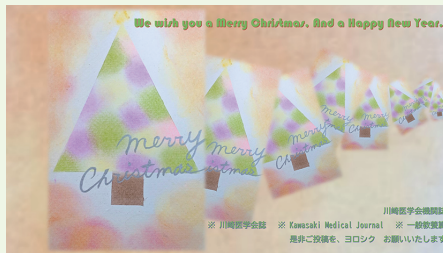
12月になっても花と蜜に誘われて短い昼間に虫たちも精一杯、お腹を膨らませます。



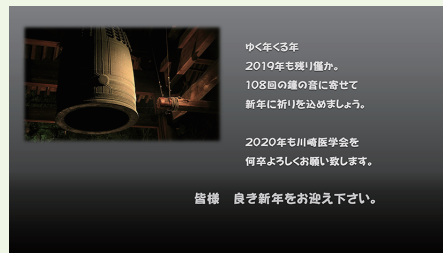
どこかで読んだ絵本の様に、私の周りには博識のクマさんが居て、いろいろと助けてくれるの。



ランタンに込められた祈りは、復興支援であり、



そして、ステキなクリスマスは疫病に苦しむすべての人々に届けばよいのに。



さらに煩惱を打ち消す百八つの鐘の音も、疫病の終息に祈りを込めることに。

さて、オリジナル曲の歌詞紹介。「My Christmas Carol 1974」は、大槻の作詞作

曲です。そして、アルバム Scenes in Seasons でサブスクで聴いて頂けます。

【My Christmas Carol 1974】

すれ違う時に ふと 肩が触れる
そんな時 重たいコートを通して
君の 優しさが わかる

街いっぱいの ジングルベルのような
サンタクロースの夢を見て
眠りについた 子供たちのような

そんな とびっきり上等の
微笑みをあげよう

そして そっと ひとつこと

こんなステキな 言葉も
胸にしまって いたけど
今夜は 二人だけの
Christmas Eve
だから そっと 君に

甘く揺れてる キャンドル
君に捧げる メロディー
今夜は 二人だけの
Christmas Eve
だから そっと 君に

今夜は 二人だけの
Christmas Eve

暖炉に 燃える 夢のように
My Christmas Carol for you
And my love for you

愛 して いる よ

*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*

2か月分のコラムですので、時事的な話題は避けてしましますが、COVID-19、新しい生活様式の中で、少しずつ生活が彩られて行っていれば、と祈念しています。

プロフィール 大槻 剛巳 (おおつき たけみ)

川崎医科大学衛生学教授
0歳: 京都府福知山市にて生誕
14歳: 京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位
14歳: KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用
15歳: 倉敷市に転居
15 & 18歳: NHKあなたのメロディー出演
18歳: YAMAHAポプコン全国大会(譜面の部) 出場
20歳: YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり
24歳: 川崎医科大学卒業
以降: 川崎医科大学血液内科〜衛生学にて診療・研究・教育に従事
1992-1996年: 米国留学(医学研究)
1996年: 岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載
2009年: Camnet CH-F (10-19) パーソナリティ担当
現在に至る

オリジナルCD
プレゼントします!
詳しくは
プレゼントコーナーで